

印西地区環境整備事業組合次期中間処理施設整備事業 地域振興策検討委員会第5回会議 会議録（概要版）	
議 題	地域振興策検討委員会第5回会議
日 時	平成27年9月27日（日） 13:00～15:00
場 所	印西地区環境整備事業組合 3階大会議室
出席者	委員：7名（松崎区未選出）、事務局：6名、関係市町：3名、 コンサル：4名
配付資料	印西地区環境整備事業組合次期中間処理施設整備事業地域振興策検討委員会第5 回会議資料、地域振興策に関する委員意見書ほか
主 た る 事 項	
<p>1. 開会 会議録署名は黒須委員と渡邊委員を指名。</p> <p>2. 会議録について（第4回会議） (1) 次期中間処理施設整備事業地域振興策検討委員会第4回会議録（概要版・全文会議録）について、事務局より説明。</p> <p>3. 施設整備基本計画検討委員会第5回会議の報告について (1) 次期中間処理施設整備事業施設整備基本計画検討委員会第5回会議の概要について、事務局より説明。</p> <p>4. 建設候補地周辺住民意見交換会の報告について【事務局より説明】 (1) 出席された施設整備検討委員会の学識経験委員（大迫委員長、河邊副委員長）の総評を報告。 (2) 全文会議録は作成後に委員へ送付するが、質疑応答も含め一般への公表は行わない。 (3) 意見交換会の松崎区の状況について、区の評議会で意見交換会の報告は行われたが委員選出には至っていない。</p> <p>5. 地域振興策に関する意見書について (1) 事務局より概要の説明があり、該当する次第の中で審議することとなった。</p> <p>6. 地域振興策総合パッケージの概要（中間決定案）について【(1)(2)事務局説明(3)各委員意見】 (1) 総合パッケージについては、中間決定案で一旦固めるが、本日および今後の会議や意見書で出されたアイデアなどの審議を個別に進め、第9回会議（H28.1.24 開催予定）で最終調整を行っていただくことが了承された。 (2) 下水道整備に関しては、下水に限定せず、合併浄化槽等の表現も付記することで了承された。 (3) その他の修正の方向性として以下の意見が出された。 [地域振興策総合パッケージの概要（中間決定案）p.1の全体概要について] ①展開場所ごとという考え方もあるが、シナリオやコンセプトがないと理解しづらい。個別・具体的な振興策とは別に、吉田区をどうしたいかのビジョン作りが必要。マスタープランとなるような表現が必要。（黒須委員） ②狙い・理念を上位に掲げ、目的や理由が明確となるようにすべき。（福川委員長） ③全体構想では、「地域“を”まるごと・・・」ではなく、「地域まるごと・・・」のニュアンス。（福川委員長） ④台地での地域振興と集落との連携を深めていくという方向性を書き込みたい。（加藤副委員長） ⑤集落での展開は、インフラ整備だけではなく縁側カフェ等賑わいの創出もあるので、表現を工夫されたい。「持続・再生・活性化を支えるインフラ整備」等。（加藤副委員長）</p>	

- ⑥「自然公園的整備」では、文化的な要素を含む意図が伝わらないため、「フィールドミュージアム整備」などの表記が望ましい。(渡邊委員)
- ⑦吉田区で培われてきた、自助努力の精神やコミュニティの伝統を残すというニュアンスを入れたい。(渡邊委員)
- ⑧総合パッケージについて時間軸の概念を入れるべき。(小野委員)
[地域振興策のアイデア(全94策) p.2~の具体的な地域振興策について]
- ⑨参考資料として、松崎区も含めた地域の概況(特に農業生産等)を提示されたい。(渡邊委員)
- ⑩道の駅に宿泊機能を付けると24時間職員が必要になるが、それに地元でも対応が可能か懸念している。(加藤副委員長)
- ⑪道の駅の狙いに、「高齢者の活性化」や「コミュニケーションの創出」を入れるべき。(渡邊委員)
- ⑫「リサイクル(リユース)」ではなく、「リユース・リサイクル」とすべき。(渡邊委員)
- ⑬企業米では「企業の社会貢献」をアピールすべき。(渡邊委員)

7. 地域振興策の事業スキームについて【事務局より説明】

- (1) 道の駅に関して、設置者である公共側が、運営にどこまで関わるか現時点では決まっていない。今後の地元住民との協議によるが、本検討会は基本構想レベルの検討との位置づけであるため、現時点ではこの程度の表現に留めることとする。
- (2) 基本的には官設民営で、地元は建設コストの負担金は負わず、運営で利益を上げていくことを考える必要がある。その中でのメリットが熱利用である。
- (3) 現時点で詳細な事業スキームを検討する意味はないので、今回の資料程度の検討とし、今後は事業費や法的課題等について検討する。

8. 地域振興策の展開スケジュールについて【事務局より説明、(1)委員意見】

- (1) ふれあいバス路線の延伸は、松崎吉田線が開通したらすぐに運行してもらいたいことを検討されたい。(大谷委員)

9. 先進地視察について【事務局より説明】

- (1) 平日実施になることを確認。(渡邊委員は水曜日の対応は不可。)
- (2) 基本的には道の駅より、収益事業として参考になる視察先を検討する。
- (3) 地元住民が視察したい施設に行くべきとの意見から、組合と地元住民で調整していくこと了承。

10. その他

- ・第6回検討会 10月25日(日) 13:00から開催。

11. 閉会

※ 傍聴者 : 2名